



今月の題字
 佐々木 雄 磨 君
 (荒川小6年)

町のわだい

山田八幡宮・大杉神社神幸祭 華やかに町を彩る祭りばやし

山田八幡宮と大杉神社の神幸祭が9月19日と20日に行われ、町中が笛や太鼓の祭りばやしに包まれました。19日は、山田八幡宮のみこしが金色の光を放ちながら町を練り歩き、沿道の観衆を魅了。20日の大杉神社神幸祭では名物の海上渡御が行われ、みこしが一気に海になだれ込むと大きな歓声が上がりました。今年は祭りに合わせて山田の魅力発信実行委員会が、「やまだエンタテイメントカーニバル」を開催。特設会場の「お祭り広場」は、みこしの渡御や郷土芸能が披露されるなど、大勢の家族連れでにぎわっていました。



町総合防災訓練を実施 有事に備える意識を持って

町総合防災訓練が9月5日午前5時半から行われ、町民の皆さんを対象とした津波避難訓練など、万が一の災害に備えた各種訓練が繰り広げられました。山田漁港では、漁船から出火したとの想定で陸と海からの消火活動や、港内に油が流出したとの想定でオイルフェンスを張り、油の拡散を防ぐ訓練が本番さながらに行われました。最後に災害対策本部長の沼崎喜一町長が、「訓練の成果を持続させ有事に備える意識を常に持ってほしい」と訓示を述べました。

交通死亡事故ゼロ1年間を達成 本町に賞賛状が贈られる

9月6日で交通死亡事故ゼロ1年間を達成した本町に、県警本部から賞賛状が贈られました。授与式は7日に役場で行われ、小笠原正成宮古警察署長が沼崎喜一町長に賞賛状を手渡し、「今後も地域一丸で交通事故防止に取り組んでください」と激励。式には交通安全協会山田支会の川村敬一支会長、交通指導隊の野崎文子隊長、交通安全母の会の後藤マツノ副会長も同席し、「原点に戻って記録を1日でも伸ばせるように努力します」と決意を新たにしていました。

